**【危機発生時の健康観察様式】例**

　　　　　　　年　　　　　　　組　　　　　　　名前

（記入日：　　　　　　　　　　　　記入者：　　　　　　　　　　　）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 調 査 項 目 |  | 危機発生時 |
|  | 対　　象 | 日常 |  | 知的障害 | 自閉症 | てんかん | その他の疾患・障害 |
| 児童生徒の訴え | 食欲がない |  |  |  |  |  |  |
| 眠れない |  |  |  |  |  |  |
| 眠気が強い，うとうとする |  |  |  |  |  |  |
| 体の痛み（頭が痛い，おなかが痛いなど） |  |  |  |  |  |  |
| 吐き気がする |  |  |  |  |  |  |
| 下痢をしている |  |  |  |  |  |  |
| 皮膚がかゆい |  |  |  |  |  |  |
| 家に帰りたくない |  |  |  |  |  |  |
| 学校に行きたくない |  |  |  |  |  |  |
| 怖いことや心配事がある |  |  |  |  |  |  |
| 観察される状態 | 落ち着きがない |  |  |  |  |  |  |
| ぼんやりすることが多い |  |  |  |  |  |  |
| イライラしている |  |  |  |  |  |  |
| 元気がなく，意欲が低下している |  |  |  |  |  |  |
| ハイテンションである |  |  |  |  |  |  |
| 余り話さなくなった |  |  |  |  |  |  |
| 物音に過敏になる |  |  |  |  |  |  |
| 人が違ったように見えることがある |  |  |  |  |  |  |
| こだわりが強くなる |  |  |  |  |  |  |
| 発作の回数が増える |  |  |  |  |  |  |
| パニックの回数が増える |  |  |  |  |  |  |
| 体重減少あるいは急激な体重増加 |  |  |  |  |  |  |
| その他 | 薬の服用ができていない |  |  |  |  |  |  |
| いつもの様子と違う（記述） |  |  |  |  |  |  |

①　「日常」の欄には，日頃の様子を思い出して，あてはまる項目に○印を記入します。「危機発生時」の欄には，危機発生後に観察し，あてはまる項目に○印を記入します。

※　日常もこの用紙を使用する際は，「日常」の欄が，記入済みとなります。

②　障害やてんかん等の疾患のある児童生徒は，■の欄の項目を特に注意深く観察してください。障害に応じて出やすい症状や変化に注意したい項目です。

③　項目以外でも，いつもと違う様子があれば，「その他」の欄に記述し，記録するようにします。また，必要な項目があれば，随時追加してください。

④　「日常」の欄と「危機発生時」の欄を比較し，○印の数に大きな変化が見られる場合は，特に注意が必要です。

⑤　結果については，養護教諭に提示します。養護教諭は全体的な傾向や個別の情報について管理職に報告の上，関係教職員で対応について検討します。

「学校における子供の心のケア－サインを見逃さないために－」により引用